

成績評価について

I. 進級に関する指導

(成績評価)

成績は各履修科目の各期総授業時間数の85%以上の出席を基準として、単位・成績評価を与える。

1. 成績は、各科目毎に「A」「B」「C」「D」「E」の段階で評価し、「A」「B」「C」「D」評価は「合格」、**「E」**評価は**「不合格」**であり、合格したものについて単位が与えられる。
2. **「E」**評価科目に関しては、事情によりやむを得ないと認められた場合は、補講・追試験・課題を課す場合がある。
3. 評価は、「出席率%」「授業態度」「試験」「課題」「実技」の5つの要素によって決定される。この要素の活用は授業担当講師に任せる。
4. 学習意欲に著しく欠けると判断された場合、前項の規定に拘わらず評価を与えないことがある。学習意欲の欠如とは次のような例であり、その判定は授業担当講師に一任される。
 - a. 授業に必要な教材・教具を持参しない
 - b. 課題不提出
 - c. 頻繁な遅刻・早退・欠席を重ねる
 - d. 授業受講態度の悪さ

II. 評価方法について 別紙『参考資料』参照

「出席率%」「授業態度」「試験」「課題」「実技」の5つの要素の総合評価により（但し、科目毎にそれぞれの点数及び割合に特色が出るのはやむを得ない）、

「A」 90点以上

「B」 89点～75点

「C」 74点～60点

「D」 59点～45点

「E」 44点以下「再評価」→ 追試験や追加課題の検討→ **「不合格」**

を成績基準として評価を与える。

※「前・後期評価」について (成績証明書に明記)

評価は「A」「B」「C」「D」「E」で表記。**前・後期評価の表記には「+」「-」「°」「´」などの付け加えは不可。**総合評価、平均点（傾斜配点含む）の点数を参考に評価。

※「課題」の評価について (成績通知表に記載)

各科目で提出された課題作品についての評価方法は担当講師に一任。←②「課題提出」の評価方法

Ex.1 「A」「B」「C」「D」「E」、「100点」「98点」「75点」など・・・

しかし、期末時点において、学期評価の「課題」点は全課題の総合評価を100点満点で評価。←③「前・後期評価」の「課題」評価方法

※「出席率%」「授業態度」「試験」「課題」「実技」について

各要素の点数の配分は各担当講師に科目の特徴を生かして、**100点満点**で評価。**総合評価**は、**評価要素の合計点数**となる。

Ex.2 記入例

③ ■ 期評価 ●/●●●(●)まで 提出をお願いします。	評 価 要 素 （ ● ○ ◎ 点 数 志 向 ）	出	授	試	課	実	総 合 評 価 （ 評 価 要 素 各 点 数 ）	平 均 点 （ 傾 斜 配 点 含 む ）	■ 期 評 価	備考
		席	業	験	題	技				
		率	態	験	題	技				
1		100	/	85	90	/	275	92		
2		82	/	75	80	/	237	79		
3		100	/	86	90	/	276	92		